

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社パスラボ
実習期間	令和 2年 2月 15日 ~ 令和 2年 2月 16日 令和 2年 2月 22日 ~ 令和 2年 2月 23日
学生氏名	今野 史悠
実習プログラム	1. 試合運営のスタッフ (前座試合 TO、コートインスペクション、TO・審判ミーティング、スタッツランナー、チケットもぎり、選手入場案内、ゲスト案内、お客様案内など) 2. ワイヴァンズユースチームの練習に参加 (指導や練習に実際に参加する)
学び・気づき (300字程度)	<p>パスラボ様の方々以外にパスラボ山形ワイヴァンズの試合を観戦に来るお客様への接客がとても勉強になりました。チケットのもぎりをしている時は、笑顔で接することを意識しました。お客様から温かいお言葉を頂いた時はとても気持ち良かったです。また、試合中のお客様のトラブルにも柔軟に対応することができ、柔軟性というところは自分の中で成長できた部分だと思いました。</p> <p>ワイヴァンズユースの練習に参加した時は、話す相手が15歳以下の子供たちでした。どの言葉が一番伝わるのかを自分の中で探りながら練習中にアドバイスすることができました。子供たちに伝える難しさを改めて感じることができました。試合形式の練習では、私が戦術を考えることになり、戦術が成功した時はとても達成感がありました。バスケットボールの知識をさらに身に付けることができとても充実した時間を過ごすことができました。</p> <p>試合当日の流れはすべてタイムスケジュールで進められます。分単位で書かれておりとても細かく正確に運営していると学びました。ただ試合するだけではなく、「バスケット LIVE」という生放送の時間にも合わせることもあり現場は自分が思った以上に忙しく大変だと思いました。時間通りに運営している競技運営部の方々のすごさを知ることができました。会場設営でもとても細かく工夫がされてありました。椅子の並べ方は、重ならないように並べることでお客様が見やすいようにすること、カメラにスポンサーの横断幕が映りやすいように設置することなど細かいところまでのこだわりにお客様を引き寄せる仕掛けが施されていました。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>今回のインターンシップを通して、目標を達成することが出来ました。しかし、課題も発見しました。積極性をさらに向上させていきたいと思いました。与えられた仕事には全力で取り組むことができました。しかし、その仕事が終わると何をしたら良いかわからず無駄な時間を過ごしてしまった時がありました。周りの方はすぐに仕事を見つけ行動していたため、私も聞く前に周りを見て状況把握ができるようにしたいと思いました。行動力を上げるために常に考える力も身に付けたいと思いました。普段から、目の前のことに精一杯ならず余裕を持って生活するために、手帳を持ちたいと思います。予定を正確に立てることができスムーズに私生活を送れると思い春先から始めたいと思います。インターンシップで学んだことをこれからの就職活動や学校生活に生かしていきたいです。</p>

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力
(300字)

バスケットボールに限らず、プロリーグの試合運営の仕組みを知ることができません。一般の方は知ることができないこともたくさんありとても貴重な体験をしました。また、今回のインターンシップではハーフタイムショーゲストとしてお笑い芸人のペナルティーさんとの交流もありました。他の時期には、ココリコの遠藤章造さんや麒麟の田村裕さん、大西ライオンさんにも会う機会があるかもしれません。さらに、実際に選手のサポートをすることもあり普段選手は試合に向けてどのように準備しているのかを見ることができ、スポーツをしている人にはとても参考になると思います。

最後に、試合運営の仕事を通してお客様が試合を観戦して盛り上がっているのを見ると会場設営から大変な仕事も多いが喜んでいる顔を見ると達成感を感じることができるととても充実した現場でした。

写真 (1~3点)

